# 石屋工務店 かわら版

第139号

H28年3月31日発行



石屋工務店 075 492-1483（シックニ イシヤサン）

京都市北区大宮薬師山東町 47－5　建設業／京都府知事(般-25)第 31625 号　インテリアコーディネーター登録店


## 粋人 石屋の多趣味人生 その115

## ヘルメット

3月になり段々と暖かくなってきました。桜もつぼみが徐々に膨らんできて月初あたりには満開になる事でしょう。この時期になりますと私の趣味の一つであるバイクに乗りたい気持ちがムクムクと盛り上がってきます。

バイクも機械ですので、メンテナンスが欠かせません。冬の間は車庫に放置している状態ですのでまずバッテリーがヘタっています。充電器で弱ったバッテリーを回復させる事からはじまります。そしてアイドリング。長い間放置しているエンジンはオイルも下に溜まり、ベストな状態ではありません。暫くエンジンを回してやり、当りを取っておきます。あとはお掃除、積もったホコリを取り除いていざ出発です。

ここで気にしなければいけないのは装備です。特に体を守ってくれるヘルメットは重要です。だいたいヘルメットは3年が寿命と言われています。実際壊れる事は無いのですが劣化してきます。ベストな状態を維持できるのは3年だと言う事です。前のヘルメットを買ってから3年が過ぎた為、新しいヘルメットを購入しました。ヘルメットは頭を守る大切な物です。見た目よりも性能が優先ですが、今回は使い勝手も考えました。普段メガネをかけている私は、メガネの掛け外しも選定の重要なポイントになります。そこでかねてから気になっていたシステムヘルメットと言われる物を選びました。写真を見ていただければ解っていただけるかと思いますが、前面がばっと開きます。その為かぶりやすく脱ぎやすいのが特徴です。サンバイザーも中に装着されている為、西日でも快適に乗る事ができます。これから3年間はこのヘルメットのお世話になると思います。事故の無いように大切にしたいです。

石屋 紀次

## 夢のツリーハウス

先日、雑誌をめくっていると世界の色々なツリーハウスの写真が目に入りました。自生している木の上にある、ちょっとした安らぎのスペースといった感じです。小さな頃にグリム童話の挿絵を見て漠然と憧れていましたが、現実的にツリーハウスをつくるのはまず無理。淡い夢として、今でも持ち続けています。それが、思いもよらず長男が高校の実習で、測量や山林からの材木の切り出し、木製品の加工等を勉強するようになり、今の家も庭続きに森が広がる好環境、少しだけ夢が現実味を帯びてきました。今年は、山から切り出した木材を船で海外へ運び、ログハウスを作る研修旅行もあるようです。今すぐとはいきませんが、近い将来、ツリーハウスとログハウスを作ってもらう様、長男に予約をしています。もう少し、私に時間とお金の余裕ができたら…ですが。

岩松 美紀

## 最近の○○

三日月形の形をした長いクッションを買いました。これを枕として使うと頭がクッションから落ちないので快適です。

パルスイクロスという布巾を買いました。吸水がよく、拭きとった汚れも落ちやすいので使いやすいです。

商品名は忘れたのですが、人の名前のような洗剤を買いました。浴室の鏡につけて拭き取ると、水垢のような汚れが落ちました。驚きました。

ガリガリ君の桜餅味が出ていました。買って食べました。ガリガリ君はソーダ味が一番美味しいと思いました。

蟹がたくさん入ったイケスの動画が送られてきました。2・3匹ですと美味しそうに見えるのですが何百匹といるとそれが全てお金に見えてうらやましく思いました。

高野 圭亮

## DIY!?

今年に入り、我が家のちょっとした部分のなんちゃってDIYにはまっています。ずっと欲しかったインパクトドライバーをついに購入しました。第1弾は、TVボードの組立て。1時間ぐらいで簡単に完成しました。電動ドライバーが一つあると、何でも使えるので便利です。第2弾は、和室の仏間のクロス張り替え。面積が小さかったのでコストを抑えるため、自分で張り替えました。通販で、クロスと工具のセットを購入。普段、現場で職人さんが施工しているものが我が家で自分でできると思うと興奮しましたが、最初は思うように上手にできず苦戦しました。コツを掴むと何とか張り終え、室内が明るくなり嬉しかったです。現場でもう少し職人さんの動きを研究したいと思います。第3弾は、押入れのリメイクをしようか、何を製作しようか思案中です。

TV BOARD

中島 あゆ美

## また新しいこと

友人と神戸で『カリグラフィー』講習会を受けました。カリグラフィーは西洋や中東などにおける、文字を美しく見せるための手法です。時折瓦版でご紹介している絵に付加する文字をカリグラフィーにすると素敵になるかな？と思っての受講でした。実際にお邪魔した教室は、やっぱり神戸？優雅なお部屋での練習でした。お部屋を見るだけで自分とは大変不釣合いと確信。不安な中レッスンを開始。字の書き方がこんなに面白いとは思いもしませんでした。日本語も上手に描けないのですが、基本の書体を書くので練習すれば何とかなるのかもしれません。写真の作品は私が書いたものですが、当然ながら初心者の仕上がりです。もう少し上手になりたいので帰りには必要なペン先などを探す始末です。これでまた一つ楽しみが増えました。半世紀過ぎて、こんなに楽しいことが色々出てくるなんて予想もしませんでした。

石坂 千孝